サッポロ ビール

4 つの約束で豊かさに貢献品質保証から環境保全まで



▲セパレサーバーのメンテナンスセンター

サッポログループは、経営理念「潤いを創造し豊かさに貢献する」のもとでサステナビリティ方針を定め、気候変動・食品ロス・海洋プラスチックごみ・地域活性化といった社会課題に対する事業を通じた取り組みを推進する。

この方針のもと、サステナビリティ経営戦略「Sustainable Smile Plan」を展開。軸となるサステナビリティ重点課題を「4つの約束」としてまとめ、ステークホルダー達と協力しながら推進するという。

約束の第1は、「『酒・食・飲』による潤いの提供」だ。食品を扱う企業として「商品・サービスの品質の追求と安全性の優先」をグループ企業行動憲章の第1に掲げ、消費者に信頼される企業を目指す。サッポロビールでは、商品開発・設計にかかわる各部門が品質マネジメントシステムの国際標準規格である ISO9001 の認証を取得。設計・開発部門の品質保証を支援するため、品質保証部などの本社サポート部門が表示などの適法性を確認し、また製造部門では主要8工場が食品安全マネジメントシステムの国際標準規格 FSSC22000の認証を取得している。

さらに本社の品質保証・商品企画・中味および 容器包装の開発研究・生産管理の各部門で、定期 的に会合をもち、また技術部門の横断的な取り組 みとして「工場相互診断」を実施している。

全国各地に生ビール品質センターやメンテナンスセンターの拠点を置き、樽詰商品の品質を追求。 独自の「サッポロセパレシステム」で樽生サーバー のメンテナンス性を向上させ、2011年には「新セパレシステム」に進化。汚れの元となる成分を極限まで低減する技術革新を実現し、さらに部品の長寿命化も果たしたことで廃棄物抑制による環境負荷低減につなげ、第8回エコプロダクツ大賞優秀賞を受賞した。

第2の約束は「社会との共栄」だ。事業、地域での接点を活かした地域貢献を目指すと共に、持続可能な調達も掲げ、グループの「グリーン調達基本方針」を説明会などでサプライヤーと共有していく。

約束の第3は「環境保全」だ。工場では排熱を 回収して熱源として有効利用を進め、また原動設 備の高効率化や台数制御システムの見直しによる 運転ロスの削減を進めることで、工場での燃料と 電力の削減も図っている。

輸送面では、競合企業と共同輸送の取り組みで環境負荷低減も進め、さらにトラック輸送から鉄道や海上輸送へ切り替えるモーダルシフトも推進。2006年にはビール業界で初の「エコレールマーク」を取得した。

約束の第4は「個性かがやく人材の輩出」だ。 従業員の安全・健康に対する配慮の徹底、ワーク ライフバランスへ取り組むといった健康経営、多 様性を尊重して能力が最大限発揮できる環境の整 備を強化するダイバーシティ経営、人材の開発・ 育成制度の充実を進めている。